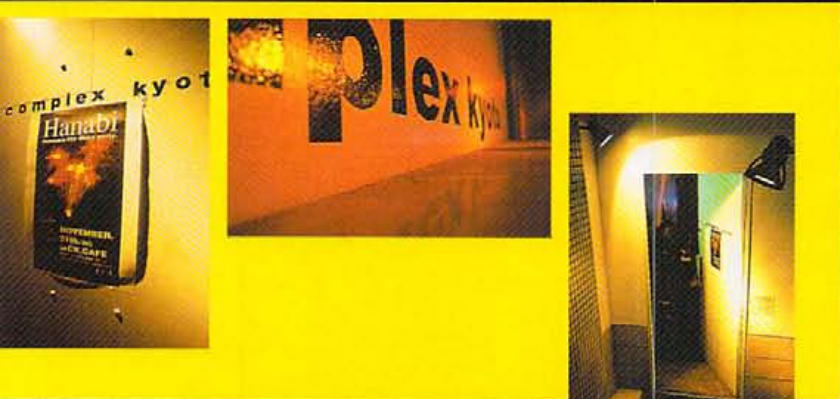




# Watching Carefully

取材・文／トライアクト 撮影／中島 光行



# Hanabi manzara-tey disco party @ck cafe

ミラーボールの輝きは、'70年代の輝き!? 東京・大阪でDISCO復権が謳われるなか、ここ京都でも確かにDISCOは復権の様子。70'sのあの輝きに魅入られた人々、彼らのオーガナイズ部分のコンセプトに、DISCOは欠かせぬキーワードの一つ。今宵のイベントを取り仕切る、京都を代表する創食処「まんごら亭 NISHIKI」の店長・植村氏も、あの輝きに魅入られた一人とみた。「懐れ、ですかね」。なるほど、会場の「元ガーデン」、ck cafeはDISCO→CLUBを渡った世代のセレクトだ。花街からちょいハズれたあの場所に、あの時代の大人な人々が続々である。今宵のオーディエンスは、元遊び人（失礼!）、そして今なお血気盛んな30~40代、いや50、60代の顔も、でもって、DJ陣も言わずもがな。植村氏が「冗費」としてリスペクトするSTRANGE BREWのクロさん、UP's clubのドリーさん、ONE LOVEのMOGURAさん…と、木屋町のあの年代の御大たちが腰を上げた。とはいえ、しっとり、ゆったりなムーディというワケはもちろんなく、その派手さ加減は住時のまま。アース・ウインド&ファイア、クール&ザ・ギャング、ジャクソン・ファイブ…輝かしき往年の名曲に、「若者よ、よく見ておくれい!」と言わんばかりの遊び方に、間違いない20代は圧倒され、羨望の眼差しとともにリスペクトしていたのだから、今宵のイベントの意義は半分以上、達成されたといってもいい。70'sに憧れた人々が、次は若者の憧れの対象となる…この70'sから回り出した輪廻転生が果てることなく続く限り「DISCOがなくなることはない!」。ミラーボールの輝きが、そう語っていた。



1. リアルにDISCO全盛を感じてきたUP's clubのドリーさんもDJ陣の一人。「俺が伝導師になるってわけやね」と決意表明! でもお茶目 2. 今宵のDJ陣の一人。STRANGE BREWのクロさん。「DISCOにROCKの要素は欠かせんのか」と、ピストルズ、ストーンズあたりをピック! 3. 今宵のオーガナイザー、植村さん(左)と専務の原さん。「なんでもっと早くイベントせんかってん!」と社長に怒られたとか 4. 「まだまだ来たばかり、これからノリノリ(死語?)」なのはエイゴさんとユウコさん、「Cafe Greenish Blueヨロシク!」 5. イカした顔とファッションがサイコヘッズ! 骨董品屋のモンキーさんとワイフ・都さん。「こんな場所が欲しかったんや〜!」 6. 舞妓・朋佳さんとともにVIPルームに登場したのは社長・多田さん。この後、二人でフロアで踊りまくる珍しき光景を拝見 7. 左から林さん、マナミさん、チエさん、桜井さん。「今夜はマナミのバースデイ! DISCOでドーンと盛り上がるぜ〜」 8. 小林さん(右)とK's BEEのBinさんは70'sに憧れた。ドンズバ30代。「もっと音大きしてくれ〜」とまだまだ物足りない様子 9. フロアでかなり激しいダンスを披露するのは60代、汗びっしょりのパーマ屋のタブチさん。「ウチの店のBGMはDISCOやで〜」 10. ミキ(左) & ナオコはともに30代。「今夜は大人が楽しめるイベント。めっちゃエエ、絶対続けて!」とのこと。植村さん、聞いてる? 11. カーショップを営んでいるカズヨシ&ミズコ。「僕ら40代にはたまらんで、フロアでは、激しく妖しい腰振りで20代を挑発!! 12. フロア上から大人たちがフィーバーする様を見ていた20代のミユ(右) & シナコ。「これが大人の遊び方なんやね! サイコーっ!」

四条河原町下ル、徒歩1分。  
ファッションホテル「アーバン」。

HOTEL  
URBAN  
アーバン

7F Hotel URBAN

green Plaza

3F Green Plaza



1F Nandaimon



京都市下京区河原町通四条下ル河原町ジンビル7F  
TEL.075 361 4371 年中無休・24時間営業  
2時間無料サービス契約駐車場有り

曜日時間問わず  
1,000円OFF

●チェックイン時、フロントに  
ご来店ください。  
●お食事の席もご用意。  
●1枚につき1回限り有効。  
有効期限 04年02月末日まで

HOTEL  
URBAN  
アーバン